

地震調査研究推進本部政策委員会
第13回成果を社会に活かす部会議事要旨

1. 日時 平成15年7月29日(火) 10時30分～12時30分
2. 場所 文部科学省別館10階(日本郵政公社)第6会議室
東京都千代田区霞が関1-3-2
3. 議題
 - (1) 地震動予測地図の防災対策等への活用について
 - (2) その他
4. 配布資料
 - 資料 成13-(1) 地震調査研究推進本部政策委員会
成果を社会に活かす部会構成員
 - 資料 成13-(2) 地震調査研究推進本部政策委員会
第12回成果を社会に活かす部会議事要旨(案)
 - 資料 成13-(3) 地震動予測地図の防災対策等への活用に関するこれまでの
議論の概要
 - 資料 成13-(4) 確率論的地震動予測地図の試作版(地域限定版-北日本)
について
 - 資料 成13-(5) 平成14年度・地震動予測地図ワークショップ
 - 資料 成13-(6) 「学校施設の耐震化推進に関する調査研究協力者会議」の
報告について
 - 資料 成13-(7) 確率論的地震動予測地図の地震保険料率への適用に関して
 - 資料 成13-(8) 「地震動予測地図」の防災対策等への活用に関するこれま
での議論の整理(中間報告作成に向けたメモ)
 - 資料 成13-(9) 地震火山学習用CD-ROM「地底三千マイルの旅～地震
と火山の“なぜ”にせまる」について
 - 資料 成13-(10) 子供向けのホームページ“地震キッズ探検隊 地震の謎
にせまる”について

参考 成13-(1) 地震調査研究推進本部政策委員会運営要領

5. 出席者

部会長	廣井 脩	東京大学社会情報研究所教授
委員	阿部 勝征	東京大学地震研究所教授
	入倉孝次郎	京都大学防災研究所教授
	上総 周平	内閣府参事官(地震・火山対策担当)
	小出 治	東京大学大学院工学系研究科教授
	佐野真理子	主婦連合会事務局次長
	重川希志依	富士常葉大学環境防災学部教授

島崎 邦彦	東京大学地震研究所教授
下田 隆二	東京工業大学フロンティア創造共同研究センター教授
鈴木 康弘	愛知県立大学情報科学部助教授
高梨 成子	(株) 防災&情報研究所代表
鳥井 弘之	日本経済新聞社論説委員
中林 一樹	東京都立大学大学院都市科学研究科教授
永島伊知郎	損害保険料率算出機構火災・地震保険部 地震グループリーダー

地震調査委員会

津村建四朗 地震調査委員会委員長

事務局	磯谷 桂介	文部科学省研究開発局地震・防災研究課長
	鎌田 高造	文部科学省研究開発局地震・防災研究課 地震調査研究企画官
	前田 憲二	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査管理官
	吉田 秀保	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震火山専門官
	岡本 拓也	文部科学省研究開発局地震・防災研究課課長補佐
	田中 宏明	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査官
	青木 重樹	文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査官
	梅田 裕介	文部科学省研究開発局地震・防災研究課

6. 議事

- (1) 前回議事要旨が了承された。
- (2) 事務局から、資料 成13-(3)に基づき、地震動予測地図の防災対策等への活用に関するこれまでの議論の概要について説明がなされた。
- (3) 地震調査委員会事務局から、資料 成13-(4)に基づき、確率論的地震動予測地図の試作版について説明がなされた。
- (4) 事務局から、資料 成13-(5)に基づき、地震動予測地図ワークショップの概要について報告がなされた。
- (5) 事務局から、資料 成13-(6)に基づき、学校施設の耐震化に関する報告書における地震動予測地図の活用例について説明がなされた。
- (6) 永島委員から、資料 成13-(7)に基づき、確率論的地震動予測地図の地震保険料率への適用に関して説明がなされた。
- (7) 事務局の説明や委員等の提案を踏まえて、質疑応答が行われた。
- (8) 事務局から、資料 成13-(8)に基づき、「地震動予測地図」の防災対策等への活用に関するこれまでの議論の整理(中間報告作成に向けたメモ)について説明がなされ、これを踏まえて議論が行われた。